

災害からまちを守る消防団

火事が起きたときや川が氾濫しそうなとき、がけが崩れそうになったとき…わたしたちの先頭に立ち、災害からまちを守ってくれる頼もしい存在、それが「成田市消防団」です。

消防団ってどんな人たち？

火災が起きたとき、消防車で駆けつけてくれる、消防職員と消防団員。その違いは何でしょうか。

消防団は消防本部や消防署のよ

うに、消防組織法に基づいて市町

村に設置される消防機関です。

消防職員は市の職員で、消防の専門職。消防団員は、日ごろはそれぞれの仕事に就く社会人や学生であったりしますが、火災が起きると現場に「出動」する地域のボランティア的な存在です。「わが



市消防操法大会での演技

成田市消防団の構成は？

まちを災害から守る」という使命感のもと、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。特に地域に密着した活動は、災害に強い安全な街づくりの実現に欠かせないものです

成田市消防団の体制は12分団・97力部で、構成員は1、486人です。

水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車19台、小型動力ポンプ付積載車77台の消防車両を配備し活動しています(平成24年4月1日現在)。

どんな活動をしているの？

消防団員の仕事は災害活動と災害以外の活動に分けられます。その主なものは次の通りです。

災害活動

○火災の消火作業、常備消防隊の

消火作業の支援

○火災鎮火後の警戒

○風水害(台風、集中豪雨、洪水など)の警戒および防ぎよ

○震災時の消火活動、人命救助、避難誘導

○崖崩れ、地滑りなどの警戒および人命救助

○び人命救助

災害以外の活動

○火災予防啓発や地域住民への防火思想の普及

○火災の多発する時期や、それ以外にも定期的に夜警などの警戒活動の実施

○災害の発生に備え消火作業や人命救助の訓練を実施

○いざの出動に備え、機械器具を常に万全な状態に点検整備をします

消防団員が減っている

地元の情報や地理にくわしく、迅速に対応できる消防団は、地域の安全を保つためになくはならない存在です。

しかし、多い時には全国に200万人いた団員が、毎年減り続け、現在は90万人を下回っています。本市でも、1、535人の定員(条例上)に対して49人不足しているため、各分団とも団員の確保に懸命に取り組んでいます。

消防団員募集中!

あなたの力を待っています

成田市消防団では、団員を随時募集しています。災害から地域を守るためには、多くの人の力が必要です。市内在住の18歳以上で、熱意のある健康な人ならだれでも入団できます。



※入団に関してくわしくは消防本部総務課(☎20-1590)へ。